

胃がん検診(予約制)



検診内容: 問診、バリウム使用のレントゲン撮影

自己負担額: 1,500 円(70 歳以上は無料)

持ち物: 各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金

服装: 無地のTシャツ、トレーニングパンツ等

上半身からお腹のあたりに金具、ボタンのついていないものを着用してきてください。
キャミソールなどについているプラスチックも画像に写るのでご注意ください。

検査前後の過ごし方

検査前日

- ・食事は午後9時までに済ませてください。水は就寝まで飲んでも差し支えありません。
- ・飲酒は避けてください。

検査当日

- ・水は検査開始 2 時間前までであれば、コップ 1 杯程度飲んでも構いません。それ以降に飲まれた場合、検査できないことがあります。
- ・コーヒー、牛乳、飴、ガムなどの飲食は避けてください。
- ・検査終了までタバコは控えてください。
- ・高血圧、心臓病、不整脈の薬がある方は検査開始 2 時間前までに水で薬を飲んできてください。
- ・糖尿病の薬の内服、インスリン注射は低血糖をおこす危険があります。使用しないでください。
- ・薬の服用に不安のある方は、事前に主治医にご確認ください。
- ・検査終了後、下剤を渡します。バリウム便が排泄されるまで、水分をたくさんとってください。

胃がん検診ではまれに、腸にバリウムが詰まる「腸閉塞」や、誤って気管に入る「誤嚥」などを起こすことがあります。

以下の項目に当てはまる方は医療機関受診をお勧めしています。

- ・胃がんの診断を受け治療を継続している方
- ・胃の手術を受けたことがある方
- ・胃、十二指腸の病気で治療中または経過観察中の方、病院から内視鏡検査をすすめられている方
- ・腹部の手術を受け、医療機関で治療中または経過観察中の方
- ・妊娠中及び妊娠の可能性がある方
- ・過去にバリウムを飲んで過敏症(じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなるなど)の症状があった方、ひどい便秘になった方
- ・背筋をまっすぐ伸ばして立つことが困難な方、自力で立つことが不可能な方、撮影台の手すりをつかむことが困難な方(撮影台が動くため手すりを強く握り、ご自身の体を支える必要があります。)
- ・飲食でむせる、体力が弱っている、便秘の強い方
- ・腎不全、心臓病で水分制限を受けている方
- ・体重 130Kg 以上の方(検査機器上、体重制限があります。)
- ・酸素ボンベ等による酸素吸入治療をしている方
- ※大腸の病気(クローン病、潰瘍性大腸炎、腸閉塞など)で治療中、経過観察している方、過去に手術を受けた方は主治医に検診を受けてよいか事前に確認してください。